

～区民から愛されるイングリッシュガーデンに挑戦する『西区秘密の花園倶楽部』～（熊本県熊本市）

取組概要

職員でボランティア倶楽部を設立し、区役所の雑草が生い茂っている一角を『**イングリッシュガーデン**』として整備し、植栽後数年が経過し、誰も見向きもしなかった壁面緑化用設備を利用して『**バラの庭園**』を整備し、誰もが笑顔で行き交う空間を創出した。また、職員間のコミュニケーションの場としても大きな役割を果たしている。

人口 740,282人 (H30.1.1現在)

担当 西区総務企画課

取組の効果

殺風景だった空間が、季節ごとに色鮮やかなガーデンとなったことで、花や緑に興味のある多くの方々が来庁され、窓口で職員に声をかけられるようになったほか、都市緑化意識の啓発や情報発信を効果的に行えるようになった。

また、職員間のコミュニケーションがスムーズになったことで、通常業務でも協力ができるようになったほか、熊本市で開催誘致を検討している全国都市緑化フェアのモデル的取組として庁内でも評価され、職員のモチベーションの向上にも繋がった。



元々雑草がおいしげった場所

創意・工夫した点

ガーデンやバラの庭園を持続可能なものとするため、職員で倶楽部を作り、無理のない範囲で世話をしているほか、職員の様々な経験を生かし、この倶楽部を活用して定期的な勉強会を開催している。

他団体へのアドバイス

職員の意識を主体的に変えるきっかけを作り、職員が『**自ら考え・自ら見直し・自ら行動**』し、何事に対しても課題を見つけ、その課題を議論し、改善に向けて実践する組織風土に変えていくとともに、職員がチャレンジできる場を創出すること。



市民との交流が生まれるイングリッシュガーデン